

## BOI (タイ国投資委員会) 新投資奨励政策の概要 (2015年～)



BOI (タイ国投資委員会) の新投資奨励政策が2015年1月より開始されていることから、概要を数回に分けて報告します。なお、工業団地情報のレポートの続きは、次回以降に報告します。

昨年12月15日、新投資奨励政策がBOI事務局より発表されました。新投資奨励制度は、今年1月からの適用となりますが、昨年12月末までに申請を受理された案件については、既存の投資奨励制度が適用されます。

現在BOI企業として活動している企業については、恩典は期限まで有効ですが、BOI企業が現在の恩典以外に追加で申請を行う場合には、新投資奨励政策が適用されます。

### ◆新投資奨励政策の目的

- ・環境に優しい事業を奨励 (省エネ、代替エネルギーを使用)
- ・投資クラスター創出を奨励 (サプライチェーン強化)
- ・国の競争力を向上
- ・南部国境県での投資を奨励 (地方経済強化)
- ・タイからの対外投資を奨励 (タイ企業の競争力向上)
- ・アセアン経済共同体への準備

主な変更点として、まずはゾーン制の廃止が挙げられます。

ゾーン制は元々、地域格差解消のため1987年から導入されたものであり、タイ国内を1から3までの3つのゾーンに分けて、バンコクより遠い地域に進出する企業ほど多くの恩典を受けられました。

今回、ゾーン制は廃止されましたが、1人あたりの所得が低い20県については特別奨励地域として、以下の恩典が残されています。

- ・法人税免除期間が3年間追加され、他のメリットとの合算による最大の期間は8年までになります。すでに8年間の法人税免除がある業種の場合には、それに代わり5年間、法人税50%の減額になります。
- ・輸送費、電気代、水道代の2倍までを最初に利益を計上した年から10年間、損金算入することが可能です。
- ・インフラの設置や建設などの費用の25%を損金算入することが可能です。

対象の20県は次のとおりです。

ウボンラチャタニー、ロイエット、シーサケート、サコンナコン、サケオ、スコータイ、スリン、ナン、ブンカーン、ブリラム、プレー、マハサラカム、ムクダハン、メーホンソーン、ヤソトン、ガラシン、チャヤブーム、ナコンパノム、ノーングブアラムプー、アムナートジャラーン

次回も主な変更点の続きを報告します。

<これまでの岡山県タイビジネスサポートデスクレポートは、[こちら](#)から>

## 【岡山県タイビジネスサポートデスク】

<<日本国内デスク ([株式会社アークビジネスサーチ](#)内) >>

【所在地】：東京都千代田区神田小川町 1-11-8 大竹ビル7階

【担当者】：志賀 敦 (しが あつし)

<<タイ/バンコク現地デスク ([ARK ENTERPRISE CO., LTD.](#)内) >>

【所在地】：138 Boonmitr Bldg., 3rd Floor, Rm. A2, Silom Rd., Suriyawong, Bangrak Bangkok, 10500 Thailand

【担当者】：福田 淳 (ふくだ じゅん)

※「岡山県タイビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のタイでの事業展開を支援しています（岡山県からの委託業務）。ご利用にあたっては、[「岡山県タイビジネスサポートデスク」利用の手引き](#)をご覧ください。また、[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#) (086-226-7365) までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のタイでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応していません。